

自立と自律・自主自律とは

令和5年12月22日

心を育む生徒指導通信

令和5年も残すところ1週間ほどになりました。皆さんにとってこの1年はどのような1年でしたか？

さて、皆さん、「自立」と「自律」同じ読み方ですが、その意味を考えたことがありますか？「自立」とは、能力や経済力、身体などに関し、親や他者に依存せず行動すること。自立は英語で「self-stood」と表記します。何事においても自立している人とは、「いろいろな事に対してやり方を習得し、それらを活かして生活をしている人」となります。また、「自律」とは、価値観や信条、理念や哲学など個人の内的要素に関して、支配や制約を受けずに独り立ちすること。英語で「self-directed」と表記します。自律している人は、自身で規範を打ち立て、それに沿って行動できます。よって各方面で自律できている人とは、「自らのなすべきことに目標を設定でき、やらなければならないことの価値観や意義を見出せる人」となります。つまり、2つの違いは、「自立」は外的要素の独り立ちで、「自律」は内的要素の独り立ちとなります。

皆さんはどうでしょうか？何事においても「他人任せ」になっていませんか？「親がやってくれるだろう」、「先輩がやってくれるだろう」、「後輩がやってくれるだろう」、「同級生の誰かがやってくれるだろう」、「先生がやってくれるだろう」と思ったり考えたりしていませんか？

今はまだ、高校生というガードがあるから、甘えが許されるかもしれません。この穴水高校を巣立っていけばそのガードもなくなります。だからこそ、高校3年間で、「自立」と「自律」の精神を身につけ、それを実行してほしい、と先生方は常日頃思っています。

最後に、「自主自律」というよく似た言葉もありますね。自主性とは、自ら判断して決められた事柄を自ら率先して行う態度のこと。一方、自律性とは、他者からの支配や強制を受けず、自らが立てた規範に従い行動する性質です。つまり、2つの違いは、自主性はあらかじめ決まっているやるべきことを自ら進んで取り組むこと、自律性は自ら考え、行動を起こすこと、となります。「自律」には現状を客観的に把握し、正しい方向に調整する力が必要になります。3年生はこの後、卒業まであまり時間がありません。2年生は残り1年。1年生は残り2年です。今からでも決して遅くはありません。残された時間、「自立と自律」「自主自律」を意識しながら、自分が今何をすべきかをしっかり自分で考え、判断し、学校生活を送ってください。

主体性を持てるようになる方法



「自立」と「自律」の意味の違い

